



平成30年度全国高等学校総合体育大会

# 2018 彩る感動 東海総体

翔べ 誰よりも高く 東海の空へ 2018.7.26-8.20

平成30年度全国高等学校総合体育大会

三重県高校生活動第3回「県推進委員会」次第

平成29年3月21日（火）

津高等学校 地理教室

15:00~17:00

## 1 開会

## 2 あいさつ

平成30年度全国高等学校総合体育大会三重県高校生活動推進委員会

会長（三重県高等学校体育連盟理事長）

藤田 隆司

## 3 協議事項

(1) 高校生活動県推進委員会当面の進め方について

資料1-1

資料1-2

(2) 300日前イベントについて

資料2-1

資料2-2

(3) 手作り記念品の製作について

資料 3

## 4 意見交換

(1) 特別支援学校が製作する手作り記念品について

資料 4

(2) 県推進委員会による取組について

資料5-1

資料5-2

(3) 高校生活動県推進委員会 班割及び担当割

資料1-2

## 5 閉会

# 平成30年度全国高等学校総合体育大会 三重県高校生活動推進委員会委員名簿

会長		
三重県高等学校体育連盟理事長	藤田 隆司	三重県立稲生高等学校
副会長		
三重県高等学校体育連盟副理事長	山下 隆史	三重県立津西高等学校
三重県高等学校体育連盟北地区常任理事	小林 徹哉	三重県立いなべ総合学園高等学校
三重県高等学校体育連盟中地区常任理事	中川 麻由	鈴鹿享栄学園鈴鹿高等学校
三重県高等学校体育連盟南地区常任理事	森本 安喜	三重県立木本高等学校

地区	学校名	顧問	生徒委員	備考
北	三重県立桑名高等学校	木谷 千賀	西山 莉子	委員長
	三重県立桑名西高等学校	向井 俊哉	佐野 晴子	
	三重県立桑名北高等学校	井手口 拓示	長田 あやめ	
	三重県立四日市四郷高等学校	川瀬 大樹	大永 琉生	
	三重県立四日市工業高等学校	水谷 真也	曾根 誠太郎	副委員長
	エスコラピオス学園海星高等学校	廣田 繁之	立松 希一	副委員長
中	三重県立神戸高等学校	與谷 慎穂	楠見 涼	
	三重県立津高等学校	伊藤 周平	松林 由起	副委員長
	三重県立津西高等学校	山下 隆史	中林 愛結	
	三重県立伊賀白鳳高等学校	大西 孝明	小柳 なつみ	
	三重県立名張高等学校	松本 幸子	松浦 大治	
南	三重県立松阪商業高等学校	奥出 正教	沖 果歩	
	三重県立相可高等学校	森 和久	東 空	
	三重県立明野高等学校	竹村 保範	松本 英里沙	
	三重県立木本高等学校	池上 亮	大寺 富和	
	皇學館高等学校	平野 昌也	瀬田 京子	

# 高校生活動県推進委員会 当面の進め方(案)

## 【当面の取組】

○県推進委員会として、平成29年度当面の取組事項として、以下の3項目が挙げられる。

- ①全国菓子博覧会(5月14日)
- ②300日前イベント(各地区で10～11月)
- ③手作り記念品詳細検討・製作準備(4～12月)

## 【進め方】

○上記3項目について、県推進委員会の委員が

- ①全国菓子博覧会
- ②300日前イベント班
- ③手作り記念品班

の3班に分かれ、企画検討、実施準備を中心的に担う。

○班の人数割りにについては、地区のバランス等を勘案して、以下の通りとする。

- ①全国菓子博覧会(4人:北2人、中1人、南1人) ※菓子博終了後、②班へ割り振り。
- ②300日前イベント班(7人:北2人、中2人、南3人)→(11人:北4人、中3人、南4人)
- ③手作り記念品班(4人:北1人、中2人、南1人)

## 【班分け】

○各地区に分かれ、相談して班分け及び担当割を考える。

※①班に割り振られる人は、5月14日終了後の②班の割り振りも考える。

## 【留意事項】

○班分け及び担当割は、当面の取組を進めるためのもので、今後、取組の進捗状況を踏まえて、随時、見直しを行う。

# 高校生活動県推進委員会 班割及び担当割

資料1-2

①全国菓子博班(4人)	北2	中1	南1	担当割
a	c	d		①平成30年度インターハイの大会概要と 高校生活動について説明・紹介 ②インターハイに関するクイズ ③インターハイに関わる映像を放映 ④三重県開催市町の紹介を開催市町の ゆるキャラと行う ⑤三重県開催競技種目の紹介とクイズ
b				
②300日前イベント班(7人)	北2	中2	南3	担当割
e	g	i		①出演者等との調整 ②企画内容の検討 ③業務分担の検討 ④イベント使用物の準備・作成 ⑤運営マニュアルの検討
f	h	j		
		k		
(⇒11人)	北2	中1	南1	
a	c	d		
b				
③手作り記念品班(4人)	北1	中2	南1	担当割
l	m	o		①素材、製作方法の検討 ②試作品の製作 ③台紙デザインの検討 ④マニュアルの製作
	n			

※各地区で、誰がどの班を担当するか、相談して決める。

※a~nに担当をあてはめる。

※①の担当は、菓子博終了後、②の担当に割り当てられるので、それを考慮して担当を当てはめる。

※班への担当割り振り終了後、各班に分かれて、「担当割」の業務を誰が担当するか、相談して決める。また、班長を決める。

平成30年度全国高等学校総合体育大会  
300日前イベント基本計画（案）

1 趣旨

平成30年度全国高等学校総合体育大会の開催について、三重県を中心に東海ブロックで開催されるインターハイのPRと高校生が積極的に大会の成功に向けて取り組む姿を広く県民へアピールすることで、大会開催へ向けての機運の醸成を図る。

2 開催方法

県内で広くPRできるように、北・中・南の各地区で1回ずつ計3回実施する。

3 開催期日

平成29年10月 1日（日）北地区

平成29年10月 8日（日）南地区

平成29年11月19日（日）中地区

4 会場

北地区 イオンモール東員 カブキコート、ガーデンプレス  
員弁郡東員町大字長深字築田510番地1

南地区 イオンモール明和 ハナショウブの広場、まきの木の広場  
多気郡明和町中村1223

中地区 イオンモール鈴鹿 中央コート（式典会場）、北コート  
鈴鹿市庄野羽山4丁目1-2

5 式典会場における主な内容

（1）カウントダウンボード除幕式

（2）高校生によるアトラクション

- ・合唱やハンドベルなどによる演奏
- ・バトントワーリングなどのパフォーマンス
- ・競技紹介 等

（3）高校生活動の取組紹介

（4）友情の花の種伝達

南東北ブロックの生徒から、東海ブロック生徒への友情の花の種伝達式

6 式典会場出演者

（1）三重県高校生活動推進委員会生徒委員16名

（2）東海ブロック3県代表生徒各2名

（3）南東北ブロック3県代表生徒1名

（4）アトラクション出演生徒

## 7 準備計画

- 3月21日(火) 第3回県推進委員会
  - ・300日前イベントプログラム(案)の決定
  - ・イベント企画班の選出及び役割分担
- 第3回県推進委員会(3月21日)～5月末
  - ・企画内容の決定
  - ・出演者等との調整 ⇒ プログラム(案)の再検討
- 6月 第4回県推進委員会
  - ・300日前イベントプログラム(最終案)の決定
  - ・業務分担(案)の検討・決定
- 第4回県推進委員会(6月)～8月末
  - ・各業務内容の詳細検討
  - ・イベント使用物の準備・作成
- 8月 第5回県推進委員会
  - ・運営マニュアルの検討
- 9月
  - ・リハーサル
- 10月～11月
  - ・本番

300日前イベントプログラム(素案) (於:イオンモール鈴鹿)

プログラム		出演者
セレモニー (中央コート)	90分~120分程度 内容により時間配分を検討。	司会3名(アナウンサー1名) (県推進委員会委員2名)
【13:30~】	<b>オープニング企画</b>	
	開会宣言	1'00 ○○高校 ○○○○
	三重県実行委員会会長挨拶	5'00 鈴木知事
	三重県高校生活動委員長挨拶	5'00 桑名高校 西山 莉子
	友情の花の種伝達式	南東北3県・東海4県代表生徒(各1名)
	・南東北ブロック高校生から挨拶	3'00 山形県○○高校 ○○○○
	・南東北ブロックから東海ブロックへ友情の花の種伝達	1'00
	・東海ブロックから南東北ブロックへ記念品贈呈	3'00
	・東海ブロック高校生からお礼の挨拶(県推進委員会副委員長)	3'00 ○○高校 ○○○○
	<b>【高校生活動取組紹介】</b>	
	○三重県 ○愛知県 ○静岡県 ○岐阜県	東海4県の高校生活動推進委員による取組の紹介
	<b>【三重県開催種目・会場地紹介】</b>	
	○陸上競技	○柔道
	○ウエイトリフティング	○剣道
	○バレーボール男子	○レスリング
	○バレーボール女子	○テニス
	○ソフトテニス	○登山
	○ハンドボール	○水球
	○サッカー男子	○なぎなた
	○ソフトボール	
	上記以外に人を引きつける企画として県推進委員会の各地区から出されたアイデアの活用 (例) ○ハンドベル演奏      ○ゲストトーク      ○合唱 ○バトントワーリング      ○相可高校スイーツ販売 ○水産高校マグロ解体ショー	
その他 (北コート)	展示 ブ ス	展示ブースなど県推進委員会の各地区から出されたアイデアの活用 (例) ○珍しい競技のルールを書いたパネルを展示 ○ゆるキャラとの撮影会(ハッシュタグのパネルを持って) ○三重で開催される競技の体験コーナー ○メッセージフラッグにインターハイを目指す高校生に向けた寄書き

平成30年度全国高等学校総合体育大会  
300日前イベントプログラム(素案) (於:イオンモール東員・明和)

プログラム	出演者		
イベント 60分程度 内容により時間配分を検討。			
【13:30～】 地区推進委員会委員長挨拶	3'00 ○○高校 ○○ ○○		
<p>メイン会場のイベント企画から、 開催場所などを考慮して、取り組め そうな企画を抽出して実施。</p>			
その他	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td data-bbox="304 999 389 1323" style="text-align: center; vertical-align: middle;">           展示 ブース         </td> <td data-bbox="389 999 1380 1323"> <p>展示ブースなど県推進委員会の各地区から出されたアイデアの活用 (例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○珍しい競技のルールを書いたパネルを展示</li> <li>○ゆるキャラとの撮影会(ハッシュタグのパネルを持って)</li> <li>○三重で開催される競技の体験コーナー</li> <li>○メッセージフラッグにインターハイを目指す高校生に向けた寄書き</li> </ul> <p>※会場に合わせてメイン会場の企画を抽出して実施。</p> </td> </tr> </table>	展示 ブース	<p>展示ブースなど県推進委員会の各地区から出されたアイデアの活用 (例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○珍しい競技のルールを書いたパネルを展示</li> <li>○ゆるキャラとの撮影会(ハッシュタグのパネルを持って)</li> <li>○三重で開催される競技の体験コーナー</li> <li>○メッセージフラッグにインターハイを目指す高校生に向けた寄書き</li> </ul> <p>※会場に合わせてメイン会場の企画を抽出して実施。</p>
展示 ブース	<p>展示ブースなど県推進委員会の各地区から出されたアイデアの活用 (例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○珍しい競技のルールを書いたパネルを展示</li> <li>○ゆるキャラとの撮影会(ハッシュタグのパネルを持って)</li> <li>○三重で開催される競技の体験コーナー</li> <li>○メッセージフラッグにインターハイを目指す高校生に向けた寄書き</li> </ul> <p>※会場に合わせてメイン会場の企画を抽出して実施。</p>		



# 手作り記念品検討状況

地区	品目	理由	メリット	盛り込みたい要素	留意事項
北 中 南	ミサンガ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○記念として残りやすい(北)(南)</li> <li>○多用性がある(北)</li> <li>○たくさん作れる(北)</li> <li>○ラッキーアイテム(北)</li> <li>○特別感が出る(北)</li> <li>○みんなに身に付けてもらえる(北)</li> <li>○イメージを表現できる(北)</li> <li>○手作り感がある(中)</li> <li>○隣り易い(中)</li> <li>○気持ちは伝わる(南)</li> <li>○切れたら願いが叶うと言われている(南)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○費用がかからない(北)</li> <li>○思い出が形になる(北)</li> <li>○手作り感が出る(北)(南)</li> <li>○デザインが変えられる(中)</li> <li>○低コストで作ることが出来る(南)</li> <li>○パリエーションが豊富(北)(南)</li> <li>○多くの人がミサンガ作りに関わることで、気持ちは一丸になりやすい(南)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○伝統工芸品を取り入れる(北)</li> <li>○三重県のカラーである緑を取り入れる(北)</li> <li>○各地区の産産色で表現(北)</li> <li>○特産物をイメージ(北)</li> <li>○ゆるキャラ(北)</li> <li>○特産品の小さなチャームをつける(中)</li> <li>○各地区で色を分ける(南)</li> <li>○伊賀くみひもを使ったもの(中)(南)</li> <li>○三重県のイメージカラーで作る(南)</li> <li>○ヒノキ(南)</li> </ul>	<p>【○】手作りミサンガ経費(山梨県と同じ方式＝刺繍糸25番1m×2本×3色を縫り合せて1本のミサンガを作成):約60円</p> <p>【○】伊賀くみひもを使ったもの:1本あたり約100円程度</p> <p>【×】立体チャーム経費:約100～150円程度</p>
北	ヒノキの入浴木	<ul style="list-style-type: none"> <li>○癒れた選手を癒すメッセージ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○予算が安い</li> </ul>		<p>【○】入浴木経費(直径9cm×厚さ3cm程度):1個あたり約130円(焼印費含む)</p>
中	ボールペン	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実用的</li> <li>○使い易い</li> <li>○貰ってうれしい</li> <li>○日常でも使える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○PRRが分かりやすい(デザインに入れることが出来る)</li> <li>○使ってもらい易い</li> <li>○持って帰り易い</li> <li>○インクの詰め替えが出来ると良い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○三重の有名なイラスト(伊勢エビなど)</li> <li>○応援メッセージ</li> <li>○三重らしくする(キャップにキーホルダーを付ける)</li> <li>○クリップやキャップを変えることで記念品となる</li> </ul>	<p>【×】クリップ部分に飾り(2cm×2cm程度)が付いたボールペン:約160円程度</p> <p>【○】バック式ボールペン(インク交換可能)にプリント加工したもの:約90円程度</p>
南	うちわ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○その場で使える</li> <li>○応援に使える</li> <li>○デザインを反映しやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○開催が夏であるため、多くの人に利用してもらえる</li> <li>○貰った後すぐに使用できる</li> <li>○三重の特産品を置くことが出来る</li> <li>○低コストで大量生産できて、デザインを工夫できる</li> <li>○軽く薄く持ち運びに便利</li> <li>○熱中症予防</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大会スローガン</li> <li>○各地区でデザインを変える</li> <li>○うちわのデザインを公式キャラにする(例:ヒノキなど)</li> <li>○骨組みの部分を三重の特産品にする(例:ヒノキなど)</li> <li>○紙を和紙にする。</li> </ul>	<p>【×】県産ヒノキを使用したうちわ:経費500円～600円(名入れ別料金)</p> <p>【×】伊勢和紙(三重の伝統工芸品):A4サイズ1枚あたり70円～130円。2枚を貼り合わせる必要あり。印刷費用別途必要。</p> <p>【○】手作りうちわ経費(うちわ骨にうちわ用シートを貼る。岡山県の記念品と同じ方式):1本約120円</p>

## 手作り記念品 今後の進め方

### 【本体】

○手作り記念品班で、素材(どのようなたさ、どのような色の組み合わせのくみひもを使うのか等)、作り方(何色、何本を縫い合わせるか、結び目をどうするか等)、製作期間(約18,000個を製作するのにどれくらいの人員でどの程度の時間の時間が必要か)等を検討のうえ、案を作成。

### 【台紙】

○手作り記念品班で、台紙のデザインをどのように決めるのか、地区ごとに作成するのかが検討して、案を作成。

### ○スケジュール(案)

H29 4～6月 手作り記念品班で案の検討

6月 県推進委員会(第4回)で意見交換、決定

7～12月 マニュアル等検討

12月 県推進委員会(第6回)でマニュアル等共有

H30 1～6月 製作

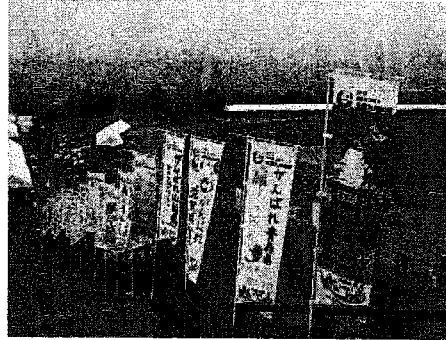
※今後、試作する等して、製作期間を検討するため、スケジュールは変更の可能性あり。

## 特別支援学校が製作する手作り記念品について

### 1 先催県での取組事例

#### (1) 平成24年度 大分県

- ・環境美化活動
- ・広報活動
- ・応援のぼり旗製作
- ・手作り記念品製作



各県応援のぼり旗

#### (2) 平成25年 東京都

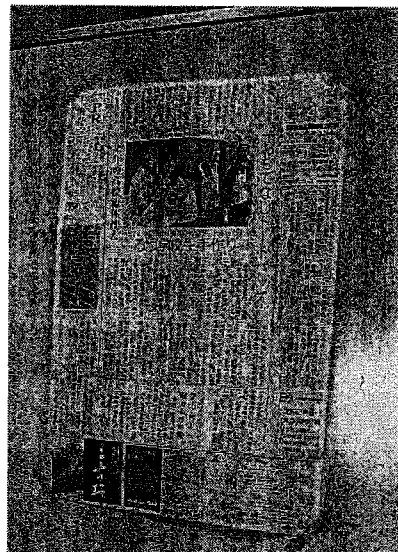
- ・カウントダウンイベントで手話
- ・所属する学校でのPR活動
- ・手作り記念品制作(うちわ)

#### (3) 平成26年 和歌山県

- ・広報グッズ製作
- ・手作り記念品製作  
(缶バッジ、トートバッグ、ストラップ)



支援学校生徒製作の缶バッジ



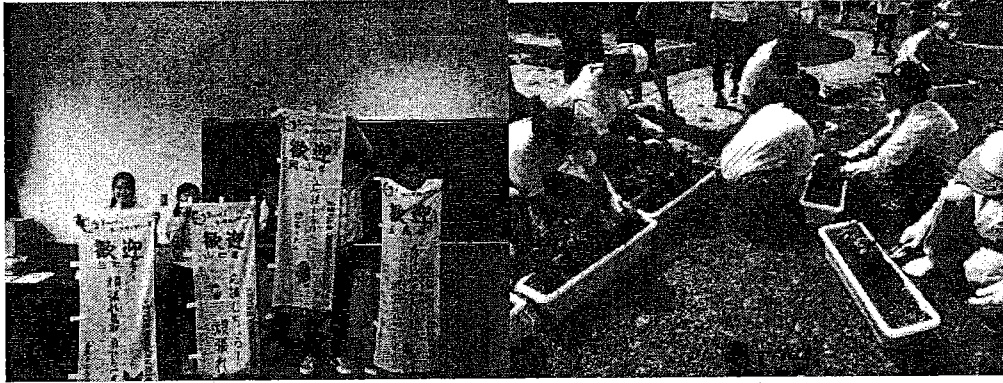
豊学校生徒のデザインしたトートバッグとバッグ紹介新聞記事

(4) 平成28年 岡山県

- ・いくつかの特別支援学校から、出来ることがあれば、インターハイのお手伝いをしたいという申し出があり検討をしたが、実現しなかった。

(5) 平成28年 島根県

- ・歓迎のぼり旗制作
- ・歓迎草花装飾植え替え

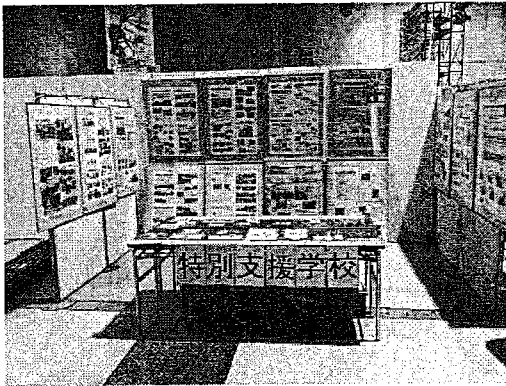


歓迎のぼり旗

歓迎草花装飾

(6) 平成29年 山形県

- ・プレイベントで配付 (H28.12.11)
- ・100日前イベントで配付予定 (H29.4月)



出店ブース



箸置き



ストラップ



手すきしおり

箸置き



しおり



しおり等



なべしき



箸置き



箸置き



## 2 本県での取組について

本県の特別支援学校でも授業でさまざまな物品を作成しています。製作する特別支援学校からは、手作り記念品の製作でインターハイに関わりたいという思いがあります。

ただ、「インターハイのプレゼントとして各校で取組可能な作業製品一覧」にあるように、1ヶ月あたりの製造数は限られるので、プレゼントを渡す対象者は限定されます。

また製作したものを啓発物品として不特定多数の人に配布するのではなく、もらった人に製作者の思いが伝わるプレゼントとなるような活用方法がないか、アイデアを出して欲しいと思います。

また、特別支援学校側からは高校生と何かしら、コラボができないかと考えています。今回がお互いの交流のきっかけとなるようなアイデアを出して欲しいと思います。

### ●手作り記念品としての活用方法として

例えば・・・

- ・紙すき葉書（くろしお（熊野市））

⇒熊野市開催のソフトボール競技に出場する選手の手作り記念品にメッセージを添えた台紙として渡す。

- ・クリアファイル（杉の子）、しおり（稲葉）

⇒津市開催競技の選手に手作り記念品に加えて、クリアファイルにメッセージを添えたしおりを入れて渡す。

など

#### アイデアを出して欲しいこと

上記以外で、プレゼントを活用してもらえる場面があれば発表してください。

### ●コラボのあり方として

例えば・・・

- ・プレゼントの材料を県推進委員会や地区推進委員会の高校生が、特別支援学校を訪問し、直接手渡しをして交流を図る。

など

#### アイデアを出して欲しいこと

上記以外で、県推進委員会や地区推進委員会の高校生が関わるができる場面があれば発表してください。

## 県推進委員会による取組について

- 1 前回、2月3日第2回県推進委員会で各委員に検討を依頼した、県推進委員会によるPR活動について、具体的にどの取組を実施するか協議します。
- 2 今回は、H29. 10～11月に予定されている「300日前イベント」に関する取組を検討します。
- 3 「資料5-2」の表No.1～7,16～19,21～22,24～31及び県推進委員会各地区から出た300日前イベント企画書を参照し、「300日前イベント」で実施できそうな取組、事前PRに活用できそうな取組等を選び、具体的にどのような取組とすれば、300日前イベントが盛り上がるか、お客様がイベント会場に来てもらえそうか、イベント開催まで時間のないうちで、どのようなスケジュールで取り組めばよいかなど、意見交換を行ってください。

※2月3日第2回県推進委員会配付資料(別紙1)から抜粋

4. 県推進委員会によるPR活動等について  
次回の県推進委員会において、平成29年度と平成30年度に行う具体的な活動を決めていきます。  
別紙2の「1 三重県高校生活動で目指すもの」を念頭に置き、自分の考えを述べられるようにしておいてください。  
その際、単純に「何をしたいか」だけでは無く、それを実現するために「誰が」「どのよう」に「動か」なければならぬかについても、意見を述べられるようにしておいてください。  
また、すべての取組が実現できないので、優先順位も含めて検討しておいてください。  
期 限：平成29年3月21日(火)県推進委員会の日まで  
内 容：県推進委員会委員として取組む内容を検討(誰が、どのように取組むのか。また、取り組む優先順位についても検討)  
参考資料：別紙2の表No.1～7,16～19,21～22,24～31を参照



1. 三重県高校生活動で目指すもの（第1回県推進委員会で出された主な意見）

- 次の開催場所の高校生活動にもつながるような活動
- 選手が大会に集中してもらう環境作り
- 三重県の人たちにインターハイ開催を知ってもらい、機運を高める
- 来県者に三重県の魅力を知ってもらう
- 北・中・南地区の良いところをPR
- おもてなしの気持ちを表現して伝える
- 高校生の活動について知ってもらう

2. 第1回県推進委員会で出された取組案のアイデア

No.	推進委員会区分		取組内容	備考
	県	地区 学校		
1	○		○ゆるキャラを沢山呼ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 岡山県では、県のマスコット「ももっち」と「うらっち」を活用。</li> <li>・ インターハイの公式マスコットは、「ウイニンくん」。</li> </ul>
	○		○ゆるキャラのマップを作る（ゆるキャラでPR）	
	○		○ゆるキャラでスタンプラリー	
	○		○三重県のインターハイだけのマスコットキャラクターを作る（デザインを募集、ウイニンくん+α）	
2	○		○西野カナさんにスペシャルゲストとして依頼	
	○		○西野カナさん（三重県出身の歌手）にインターハイの服を着てもらい、テーマソングを作ってもらう	
3	○		○ポカリスエット（大塚製薬）にパッケージを依頼して本番の3ヶ月前から全国あるいは三重でPR	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大塚製薬は、インターハイの公式スポンサー。</li> <li>・ 津商業高校では、和菓子「関の戸」とコラボしてパッケージデ</li> </ul>

No.	推進委員会区分		取組内容	備考
	県	地区 学校		
				デザインを制作。その他の高校でもコラボ事例あり。
4	○		○インターハイ限定の弁当作成（三重の特産品）	・三重県産食材を使用したサミット弁当やコンビニと協力して発売した弁当の事例あり。
5	○		○全高校に協力してもらい、エンブレム（シンボルマーク）を鶴で作り、そのあと広島に届ける	・先催県では、ペットボトルキャップで作った巨大シンボルマークを作成。
6	○		○他県とコラボ	
7		○	○ランチマップを作成	・岡山県では、競技会場周辺のランチマップを手書きで製作。
		○	○三重県の有名なものを紹介する冊子やマップの作成	
		○	○北・中・南地区それぞれの名所や良いところを交流し、1つのマップを作る	
		○	○商店街などの会場周辺でのマップの作成	
	○		○各競技がどこで開催されるか、日程等の載ったマップの作成	
8	○		○北・中・南の文化（制服や言葉）の違いをマップなどでPR	
	○		○会場周辺の最寄りの駅でのごみ拾い、落書き消し	
	○		○惹かれるデザインのパスターを学生の出入りが激しい駅にはる	
9	○	○	○誰にでも見やすいパスターの作成（文字を見やすくする）	・伊勢工業高校では、独自のポスターを制作。校内に掲示中。
			○インパクトのあるパスターの掲示	
			○個人の店やチェーン店にポスターを貼ってもらう	

No.	推進委員会区分			取組内容	備考
	県	地区	学校		
10		○		○スポーツイベントに参加してPR	・津シティマラソンでPRイベント実施。
11		○		○伊勢神宮の鳥居を草花装飾し、その下をくぐるようにする。	
12			○	○各高校、学校などの特徴をいかして1つの作品を作る	・ウイニンくんの重量挙げロボットを製作。 ・シンボルマークの機械仕掛けの巨大カウンタダウンボード制作
13			○	○各高校の特徴をいかした活動（商業：コンピュータ系・HP作成、工業、農業：花を飾る）	
14			○	○学校での様々な部活と協力した作品を作った宣伝	
15			○	○牛にインタンナーハイの服を着させる	

大会会場・開会式での取組

16	○			○総合開会式会場の最寄り駅に各競技場案内所を設置し、近辺エリアのマップを作成	・総合案内所は東海総体でも設置予定。
17	○			○各会場でフォトスポットを作る（歓迎）	
18	○			○会場毎のスタンプラリー	
19	○			○各競技のことを知っているガイド高校生による会場案内	
20		○	○	○三重県の観光名所で撮った写真でモザイクアート	
21	○			○Tシャツやタオルを作成し販売する	
22	○			○三重の特産、名所、ゆるキャラが載ったタオル又はシャツを作り販売	
23			○	○学校の委員で、聖火ランナーのようにフラワーランナーで各会場をぐるぐ	

No.	推進委員会区分		取組内容	備考
	県	地区 学校		
			るまわる	
24	○		○開会式で選手達に向けてバズーカーで塩飴を飛ばす（当たり付き、熱中症予防）	・ノーベル製菓の工場が名張市にある。 ・三重県と松屋成果さんとコラボした「みえっくスキャンデー」を発売。
25	○		○三重県の有名な花（県花）で作成したフラワーアートを会場に設置	
26	○		○開会式でプラカードを持つ人たちの服装を三重県の有名なものにする （例：あっかんべー、忍者、海女さん、西野カナ、平井堅、吉田沙保里）	

広報関係				
27	○	○	○TV・ラジオに出演（利用）	
28	○	○	○SNSでの広報（三重弁を使う、期待の選手を紹介）	
29	○		○PR動画の作成	
30	○		○電車のラッピング	

イベント関係				
31	○	○	○ショッピングモールなどで三重のことやインターハイのことを知ってもらうクイズ大会を行う。	
32		○	○スポーツイベントなどで伊勢茶を配付	

【既に動きだしている活動】

- 各駅にカウンタダウンの機械を工業高校に作ってもらい、置く【工業系の学校】
- 中学校等にPRに行く（前に立ってインターハイのことを説明、土曜授業に行く）【学校活動】
- 学校等での宣伝【学校活動】
- 地域等のイベントや祭りでPRをする【地区活動】
- 記念品を作る【県活動】
- PRしながらごみ拾い【学校活動】
- ティッシュを沢山配布【地区・学校活動】
- 各主要駅で広報活動【地区・学校活動】

## 300日前イベント企画書（各地区提出一覧）

北 地 区			
内容	時間	必要なもの	備考
インターハイ全種目紹介(何県で何の競技が行われるか)	20分	原稿 パネル 動画	各県のゆるキャラを呼んでみてはどうか。
珍しい競技のルールを書いたパネルを展示	制限なし	パネル・展示ボード	展示してある方が近づきやすいのではないかな。
ゆるキャラとの撮影会(ハッシュタグのパネルを持って)	制限なし	ハッシュタグパネル	#インターハイ #300日前イベント など
三重の伝統工芸品を作れる体験コーナー 例、伊賀のくみひも	人数限定する	糸、指導者	君の名は。で話題のくみひも作り。
三重で開催される競技の体験コーナー 例、ハードル	何時からはこの競技	競技の用具	競技をやっている人に頼む
メッセージフラッグにインターハイを目指す高校生に向けた寄書き	制限なし	メッセージフラッグ 沢山の色ペン 机、いす	「三重県頑張れ！」 「全力で頑張れ！」 など
西野カナさんに大会のイメージソングを作ってもらい流す	制限なし	西野カナさんに頼む	話題性あり
インターハイの公式キャラクター、ウイニンくんのぬり絵	制限なし	机、いす ウイニンくんの紙 色鉛筆	子供でも楽しめる
記念品の配布	寄せ書きを書いてくれた人やぬり絵をしてくれた人に記念品を配布	記念品	ちょっとした物
競技の体験をしてスタンプラリーにする。	制限なし	台紙、スタンプ	あまり人気のない競技も体験してもらえる。
新品の競技用具と選手が使っている競技用具の展示	制限なし	競技用具	ビフォーアフター的な、選手の努力が見える。

## 300日前イベント企画書（各地区提出一覧）

中 地 区
三重県出身のアーティストの曲を吹奏楽部に演奏してもらおう。
インターハイ検定みたいなクイズを作る。(景品を用意)
実際に使う球技などの球の重さなどをクイズ形式で答えてもらう。
会場周辺のおすすめのスポットを紹介する。
なるべく方言を使ってアピール。

南 地 区	
内 容	時 間
インターハイの事について詳しく説明する。 (説明者以外はパネルを持っている)	10分
南勢地区の人たちがインターハイで行われる16種目のユニフォームを着ながら説明する。 (1人1人着たユニフォームのスポーツについて、1分強ほど説明をする。(各自で考えてもらう))	20分
体験コーナーを作り、一般の方に実際に体験してもらおう。 参加賞としてウェットテッシュを配付。 (ウエイトリフティングの重さクイズ。なぎなたに触れてみよう。バドミントンの羽根突きが何回できるか。サッカーのリフティング何回できるか。ソフトボールと野球ボールを見分けられるか。)	20分
2018年に三重県でインターハイが行われることについて詳しく説明する。	10分
60分×3セット=3時間	

平成 29 年 3 月 21 日

## 総合開会式の選手団激励について

### 1 総合開会式 概要

- 期日：平成 30 年 8 月 1 日（木）
- 場所：県営サンアリーナ（伊勢市）
- 参加人数：約 5,000 人（選手団、来賓、招待者、出演者等）
- 選手団内訳：陸上競技、バレーボール（女子）、ウエイトリフティング

### 2 総合開会式 全体の流れ

#### (1) 式典（約 60 分）

選手団入場・挨拶・優勝杯返還・選手宣誓

#### (2) 歓迎演技（約 30 分）

明日からの大会に向けて選手団の活力となるように、三重県のすべての高校生が一体となって力強い歓迎演技を行う。

- ダンスパフォーマンス・マーチング・和太鼓等

#### (3) 選手団激励（約 10 分）

式典進行の都合上、選手団、来賓等は約 10 分その場で待機する。

次回の県推進委員会で、この場面についてアイデアを出してください。

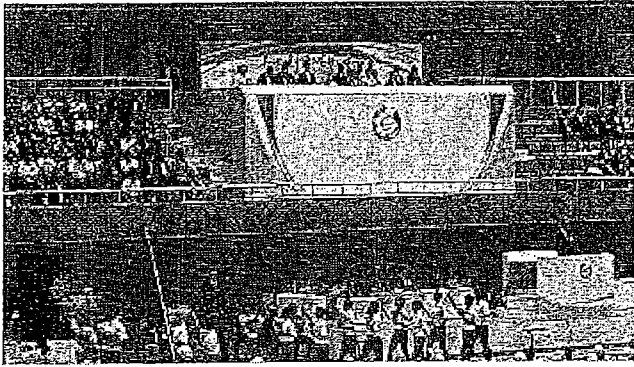
#### (参考) 先催県の取組

年	開催県	内容
平成 23 年	青森	応援団エール
平成 24 年	新潟	激励映像
平成 25 年	大分	チア&パネルパフォーマンス
平成 26 年	東京	(夕方開催で選手が不在のため実施せず)
平成 27 年	和歌山	ビデオメッセージ ダンス
平成 28 年	岡山	激励映像 高校生によるライブ激励
平成 29 年	山形	激励映像 高校生によるライブ激励 (予定)

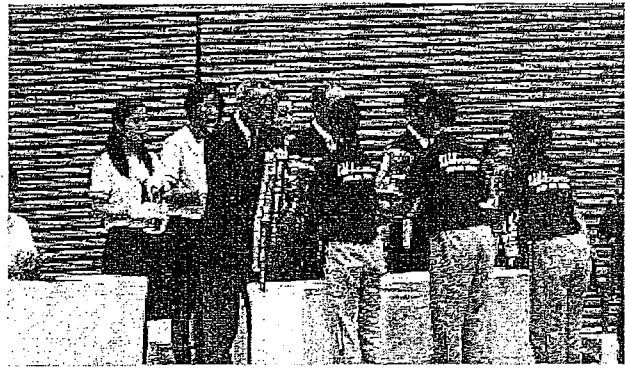


平成28年 岡山

入場行進



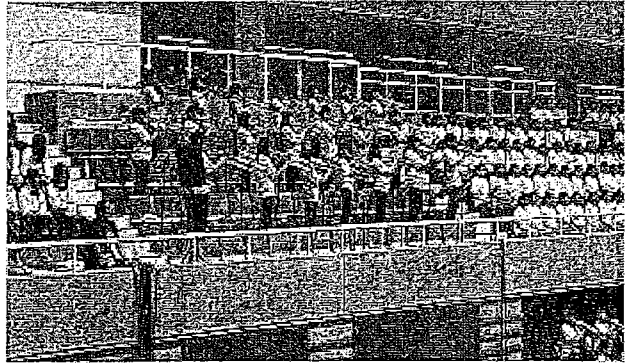
優勝杯返還



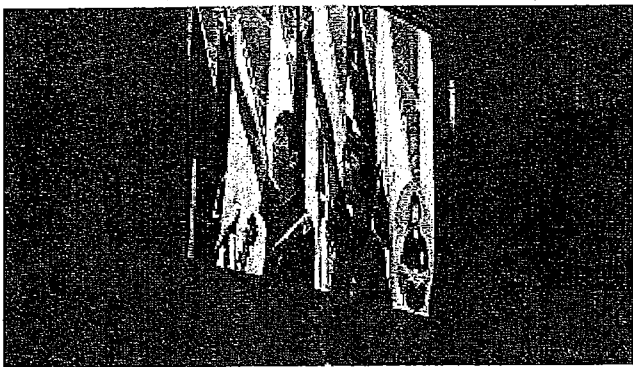
高校生代表挨拶



式典音楽隊 (ファンファーレ)



選手代表宣誓



公開演技



選手団激励

